

OXFORD大学日本科

日本語 Instructor Gutch 洋子

一. 機関の概要 (2002.6現在)

所在地 Oriental Institute, Pusey Lane, Oxford
OX1 2 LE UK
TEL.01865-278200 FAX.01865-278190

1963年に独立した学科として発足。Oriental Institute(1960年設立)内にある。

学生は39あるCollegeのいずれか(実際は東洋学の教官のいるCollegeに集中する傾向があるが)に属して起居し、日本語、日本文学、日本史などの授業を受け、Instituteにやって来る。各学生は、下記三のLecturerのどれかの指導下に入る。三年生で専攻科目を決め、文学、言語学、思想史などをとる者はOriental InstituteのLecturerの、社会学、歴史、経済学などを専攻する者は、Nissan Institute(1981年設立)のLecturerの指導を受ける。

四年間のBAコース。一年生は3学期目に関西学院大学で13週間の語学研修を行うことが義務づけられている。三年目を終了後、一年間の日本留学が認められているが(行き先は京大、お茶の水大、早大などの大学がおもだが、学生の希望で日本企業、イギリス企業の日本支社などに配置されることもある)、毎年ほとんどの学生が留学するので、実際は五年コースと言える。

二. 学生数

一年生	12名	二年生	12名	三年生	10名
日本留学	9名	四年生	17名		

三. 教師数

Lecturer 4名。それぞれ、Keble、Queens、Pembroke、Hertford CollegeのFellowshipを持つ。

日本語 Instructor 3名

Unseen Translationを除き、この3名が日本語教育全般を担当する。それぞれ、週15-20時間の授業を受け持つ。

四. 学期

Michaelmas Term、Hilary Term、Trinity Termの3学期よりなる。各学期は8週間。

五. 現代日本語クラスの概要

1. 授業の種類と授業数

()内の数字は各学生の週あたりの授業数。1コマ55分。

一年生

Exercise (5)、L.L. (1)、Speaking(1) Reading(1)、 Writing(1)
漢字・語彙 (1)

二年生

Exercise(2)、Speaking(1)、 漢字・語彙(1)、Writing(1)、
Unseen Translation* (1)

三、四年生

Speaking(1)、 漢字・語彙(1)、Writing(1)、Reading(1)、
Unseen Translation* (1)

* 初見の日本語の文章を英訳する。

三年目に近代文学、古典文学、演劇、社会学、経済学などから専攻科目を選ぶ。

2. 教材

一年生は「みんなの日本語初級I&II」（スリーエーネットワーク）を使用。二年生のExerciseとSpeakingの一部に「文化中級日本語I」（凡人社）、三年生のReadingとWritingの一部に「文化中級日本語II」（凡人社）を使用。二、三年の定期漢字テスト用に「A New Dictionary of Kanji Usage」（学研）を使用。

四年生のWritingは、弱点強化のための練習問題と過去の試験問題を中心に扱う。

上記の他は各Instructorが作成した教材、新聞記事、テレビ番組の録音、録画テープなどの生教材を使っている。

六. 試験

主な試験は二年の三学期に行われるModerationsと四年の三学期のSecond Public Examinationのふたつ。

一年生は二学期終了時にQualifying Examinationを受け、得点が60%以下の場合、再試験を受けなければならない。

七. その他

1. 日本語に興味を持つ他学部の学生のためにNon Intensiveクラスを3段階設けている。各、週2時間の授業。使用教材は「みんなの日本語初級I & II」。
2. 中国科の学生は特別課目として日本語を選択でき、50時間で基礎文法を習得する。使用教材は「日本語初歩」。